

組合の専門部です！

女性部 女性教職員から見た学校や子どもたちの課題に 取り組みます。年1回開催される「母と女性教職員の会」ではさまざまなテーマについて学習します。



養護部 学校現場での養護教諭の役割が大きくなりつつあります。震災にともなうストレス反応を高く感じているのも養護教諭です。真に子どもたちの体と心の健康のために、なにが大切なのかを追い求めています。



青年部 若さゆえの失敗も、受け入れてくれる仲間がいれば乗り越えられます。視野を広げるための研修や、九州、全国のなかまとの交流もあります。

事務職員部 「何をどうしたらいいか？わからない！」初めての事務職員のための学習会をしています。気軽にいつでも相談ののってくれます。



栄養教職員部 献立づくりから、栄養職員としての事務的な仕事、給食センターとの関係など、気軽にお尋ねください！ネットワークでつながればもう安心！



障教部 「障害」のある子もない子も共に学び、地域で共に生きるインクルーシブな教育のあり方をめざしています。九州、全国とのなかまとの交流も活発です。

臨任部 臨採の教職員の権利と賃金は、臨任部ができてから毎年改善されてきています。「要求なければ改善なし！」本採用との格差解消を目指しています。また、教員採用試験合格を目指し、組合の応援プロジェクトでがんばってる方も多くおられます。

～相談カード(セーフティネット)の活用を！～

- * 休暇制度はいろいろあるけど、使い方がわからない！
- * 年休で休もうとしたら、理由を聞かれいやな顔をされた！
- * お茶くみや朝の掃除など、「新採だから」とさせられている！
- * 土日の出勤を強制させられた！
- * 「新採だから」と何でも押し付けられる雰囲気がある！
- * 子どもや職員の前で、失敗を厳しく注意された！
- * 必要以上に何度もレポートの書き直しをさせられた！
- * 在校時間の記録の改ざんを言われた！
- * 夜の交流会で、しつこく飲まされた！
- * 私的なことをしつこく聞かれた！
- * 服装や髪型のことをチェックされた！



～子どもを真ん中にした教育を～

熊教組は、平和・人権・民主主義を基本に、子どもを中心にした教育実践を行っています。年に1回の教育研究集会では、熊本市教組、高教組と一緒に様々な課題についてレポート発表と講演を行っています。

また、熊本地震では全国から復興支援のボランティアも受け入れ、地域に貢献しています。子どもの教育に関わることで、県当局とも話し合いをし、提言をしています。



あなたの加入を待っています！

～困ったら組合に相談！ 解決するには組合に加入！～

熊本県教職員組合委員長 様

組 合 加 入 届

私は、このたび熊本県教職員組合に加入します。

名 前	性別	職種
フリガナ		
		正・臨
生年月日	年 月 日	
職場	立	
現住所	〒	
連絡先電話	(自宅) (携帯)	

* 入手しました個人情報本人の同意なしに第三者に提供することはありません

こんにちは！ 熊教組です



熊教組は、学校ではたらく上での課題にとりくみ、自分もまわりも子どもたちも安心できる社会をめざします。

あなたの「安心」「元気」は子どもたちの「安心」「元気」につながります。あなたもぜひなかまになり、全国のなかまとも力を合わせ、理想の教育をめざしましょう！

熊本県教職員組合

〒869-0976 熊本県熊本市中央区九品寺1丁目11-4
TEL 096-372-1500
FAX 096-372-1527

E-mail ktu@lime.ocn.ne.jp

HP <http://www.e-ktu.com>

(NEXT KTU で検索すればOK)



新採アンケートをとりました！

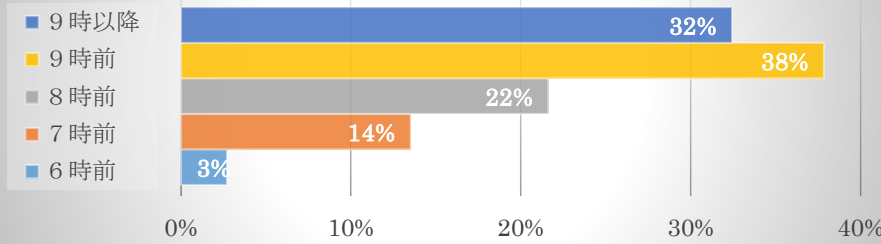
この中で、一番忙しいと感じたのが初任研のレポートでした。研修のたびに毎週提出することになり、そのために夜遅くまで残ったり、土日に学校に来ている人もいます。

組合では、負担が少しでも減るように初任研のレポートの参考になるデータが閲覧できるようにしました！



「働き方改革」にも取り組んでいます！

4-③夕、学校を退勤する時間



部活を持っているほとんどの先生が、9時前後に帰っているとのこと。家に帰り着くのは10時前後でしょう。こんな状況のなか、先生を続けていけるのか？心配になります。教材研究や保護者との関係、報告文書、諸計画と遅くまで残らないと仕事が終わらないことが多すぎます。仕事の効率はメリハリを付けること、休みを適宜に取らなければ、心の病につながりかねません。メンタルヘルスの検査もありますが、自分は大丈夫と思っている先生ほど危ないのです。(アンケートの総括より)



前田康弘 (熊大准教授)
現場の様子が良くわかる本です



「学校で働く」ということに慣れることに精一杯の1年でした。分からないことばかりで何でもやってみようという気持ちで過ごしてきました。ふと何をしているのか分からなくなったこともあります。バランスをとること、力として身につけたいです。今は「おかげさまで」の気持ちが大きいです。(中学校教諭)

部活の対外試合が毎週あるので休めない。(中学校教諭 他多数)

夢と希望を持ち続けるためにも！



1年目は本当に大変ですが、とても充実しているし、子どもたちはとてもかわいいです。乗り越えれば楽しいです。ただ、おかしいと思うことは、断ったり、はっきり言えるとよりよいのですが...私は組合の先生に助けられました。新採だからといって小さくならないで良いのです。(小学校教諭)



心身ともに健康で過ごすことが、子どもの教育を真剣に行ううえでの基礎となります。先生が元気でなければ、子どもも元気ではありません。すべては子どものためという思いで教育に臨みましょう。必要のない業務は精選が必要です。同じ立場の教職員とつながりをつくり、集まって情報交換をする機会を大切にしてください。組合に相談できるようにしておくことが重要です。(初任研で講話をした小学校教諭)

組合による「採用試験応援プロジェクト」



1次対策 (9月からスタート)
東京アカデミー模試無料 (組合負担)

2次対策 (4月からスタート)
論文、面接指導、模擬授業 (組合で実施)

*これを機会に加入される臨採の先生も多くおられます。



今年は、一次試験のあと、事前作文・面接・授業・いろいろな先生に見てもらい、アドバイスを受けました。その後、各地域でのこの応援プロジェクトに数回参加しました。回数をこなすほど落ち着きと自信をつけ二次試験を受けることができました！ありがとうございました！(合格した先生の感想)

新採として、授業や教材研究の悩みは当然だと言えます。また、それが本来の業務ですからいろんな方法で勉強して欲しいと思います。ただ、学校、教職員みんなが忙しさの中で周りに聞けなかったり相談できない状況があります。学級づくりや教材研究など組合はサークルの会(文芸研、作文サークル、生活指導研究会、仮説実験授業、算数教室、水泳教室、音楽サークル、公害サークル、性教育、など)があり、全国のなかまとの交流もあります。(アンケートの総括より)

多すぎることです。担任させてもらって授業もしていますが、研修が終わったらレポートを書いて、何のために先生になったのかわからなくなります。何度も出張に行かないといけなくて、学級の子どもが心配です。(小学校教諭)



大学を卒業して社会のことも今の実際の子どもや保護者のことも良くわからないままに、担任をいろいろな葛藤がありました。私と同じような人はたくさんいると思うので、今後教師になる人が、少しずつ「ここでならがんばれるぞ！」と前向きに思いながら成長していける環境を整えてほしいと思います。(小学校教諭)

